

現状及びリスクの把握

本校は、江戸川区の北部に位置し、海拔は2 mである。さらに、東側には江戸川が西側には新中川が流れているため水害（洪水・高潮）が起こった際の浸水の深さは『1階浸水』にあたる。また、浸水継続時間（想定最大規模）は3日～1週間である。

校舎の周りには住宅が密集しているため、地震や火災後には有無を確認し保護者への引き渡しや下校指示を出す必要がある。

学区の南北には JR 小岩駅、京成小岩駅があり、中央には江戸川区と葛飾区を結ぶ幹線道路である柴又街道が通っている。そのため、避難所開設の際には、多くの避難者が来校することが予想される。

学校の現状（令和7年4月現在）

教職員数	36名
全児童数	310名
第1学年	55名
第2学年	55名
第3学年	56名
第4学年	42名
第5学年	54名
第6学年	53名

校舎	昭和29年建設 ※平成11年校舎耐震補強工事完了
○登校時間	午前 8時10分～ 8時15分
○下校時間	午後14時40分～15時30分
○昇降口	東階段1・2・5年生 中央階段3・4・6年
○登下校時の環境	・ 正門、体育館側門から登校。下校は正門のみ。 ・ 北門は緊急時のみ使用 ・ 登校は登校班で8時15分には教室に入る

学校の立地環境

○学校の立地	・ 海拔 2 m（江戸川区ハザードマップにより洪水・高潮浸水区域） ・ 交通 校舎 南側徒歩5分のところに京成線京成小岩駅 北側徒歩15分のところに総武線小岩駅 西側に柴又街道（京成バスの停留所あり）
○自然的環境	・ 校舎の東側に江戸川、西側に新中川が流れている。
○社会的環境	・ 学区全体的に住宅が多い。 ・ 南側には駅があり、その周りには商店が多い。